

令和7年度「歯・口の健康啓発標語コンクール」ならびに 「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」



学校歯科部常任委員 吉田 崇

日時 令和7年8月28日(木)

場所 本会会館 講堂

標記コンクールの審査会が、去る8月28日に行われた。

標語の応募作品数は304、小学校14校155作品、中学校13校149作品であった。審査には、島根県教育庁保健体育課健康づくり推進室 指導主事 杉原杏奈先生、美術の専門家として持田隆志先生、本会より学校歯科部理事 清水 潤先生、学校歯科部副委員長 多田 宏先生、常任委員 倉塚 啓先生と私が立ち会った。今年度も工夫をこらし、よく考えられた作品が多かった。

図画・ポスターの応募作品は、幼稚園・保育園・こども園は5園109作品、小学校からは4校65作品、中学校からは2校9作品、特別支援学校(中学部)から10作品であった。

応募作品はどれも素晴らしい作品であった。学年が上がるにつれてレベルが上がり、作品を通じて子供とは成長していくものだと思感させられた。しかしながらコンクールなのでどうしても順位をつけなければならず、苦勞した。厳正な審査の後、持田先生から以下の講評をいただいた。

<幼児の部>

表情がある絵で気持ちが現れている。歯を大事にしようとする気持ちが感じ取れるのが素晴らしい。

<小学校>

しっかり描き込んであり、むし歯がある苦しみが伝わってくる。高学年になると自分の生活習慣が現れリアリティが出てきている。自分のことを客観的にみられるようになり、それが絵にも表現されている。応募数が少なく残念だった。



<中学校>

絵作りを考えられるようになっている。いろんな工夫、絵の構成、本人の考え方がしっかりしてきて同じような絵がない。しっかり描き込んでいるので充実感があつた。

<特別支援学校>

頑張って描いたのが伝わってくる。表情が豊かで自由な気持ちで豊かな表現をしていて、心が癒される。

なお、以下の作品を中央審査会に推薦した。

標語

松江市立城北小学校 4年 中村 色葉 さん

図画・ポスター

<幼児の部>

敬川保育所 4歳 青山 修大 さん

<小学校低学年の部>

出雲市立大社小学校 2年 春日 杏 さん

<小学校高学年の部>

美郷町立邑智小学校 4年 曾根 一華 さん

<中学校の部>

出雲市立斐川西中学校 3年 原 歩花 さん

<特別支援学校の部>

島根県立出雲養護学校 中学部 2年 安達 悠人 さん